

吐山地区 第3回 地域コミュニティワークショップ 概要

日時	平成27年9月27日(日) 19時00分～20時30分
場所	吐山公民館
出席者	吐山地区各種市民公益活動団体等 約30名

ワークショップの内容

1 開会

ファシリテーターを務める榊ひとまの宝楽陸寛氏から、前回の振り返りがあった。

2 市からのコメント

第1回及び第2回のワークショップで出された課題やそれに対する解決策等について、市からのコメントを伝えた。(詳細は別紙「意見一覧」参照)

3 意見交換(抜粋)

コメントに対する意見交換をした。その際に出た主な意見・課題は以下のとおり。

※発言は○=地域 □=市 △=宝楽氏

(1) 都祁地域における融雪剤について

○：国道369号線の道路凍結について、県の土木事務所の管轄の違いからか、宇陀市側の道路はすぐに融雪剤をまいてくれるが、奈良市側は融雪剤の散布が遅い。時間が経つと凍結して危ないので、早く散布していただけるよう、市から県に伝えていただきたい。

(2) 吐山地区在住の都祁中学生の通学路について

○：都祁中学校の生徒は、国道369号線を自転車で通学するのだが、都祁吐山町から都祁白石町に抜ける峠の部分の草が繁茂しており、通りづらい。また、中学校からは生徒に歩道を通るよう指導がされているが、道路の片側しか歩道がない部分もある。この場合、道路交通法で定められた自転車左側通行にならないが、問題はないのか。

(3) 登山道の除草について

○：都祁には額井岳や都介野岳など山が多く、登山客も多く訪れるが、登山道の除草は誰が行うものなのか。例えば額井岳でも宇陀市側からの登山道は吐山側からに比べて除草がしっかりとされているように思う。

□：都祁行政センターで土地の所有者を調べることはできると思う。

(4) 吐山保育園跡地の活用について

○：市からの依頼で吐山保育園の跡地を考えるための検討委員会を作り、7年間市とともに検討を重ねてきたが、一向に前に進まないことに住民は苛立ちを感じている。

○：吐山保育園の跡地については、地域住民がこまめに草刈り等行っているおかげで、良好な環境が維持されている。他地区の場合、地元住民による維持管理が行き届いておらず跡地が荒れている場所もあるようだが、吐山の場合そういった状況ではない。市は、そういった地域の努力を汲み取っていただきたい。

(5) 吐山地区のホームページについて

○：地区のホームページを作成するとしたら、誰が中心となって作るのか。

□：市のホームページで掲載できるのは地区の概要程度になるかと思う。各地区のホームページについては、地域で作成していただき、市のホームページにリンクさせていただくというのが現実的かと思う。

4 まとめ

宝楽氏から3回のまとめがあった。

かつて自治体は自分たちが考えたものを地域へ持ってくるというトップダウン型だったが、現在は、地域がどういったものを望んでいるのか、そして行政はどのように関わっていくべきかを地域とともに考えていくという対話型へとシフトしてきている。地域側も、行政がどう考えているかばかりを求めるのではなく、お互いのコミュニケーションのために、こういった話し合いの場を今後も継続して作っていきけるかが大切である。

最後に、保仙自治連合会長から挨拶があった。3回のワークショップの結果については、今後「協働のまちづくり推進庁内検討委員会」に報告される予定である。この結果から、吐山地区の住民のエネルギーを市幹部の方々に感じ取っていただけたと思う。

奈良市自治連合会としては今後、市内49地区のうち10地区をパイロット地区に選出し、その地区の取組みを支援していくし、市では条例改正に向けた取組みを進めていただいている。パイロット地区の取組み結果をふまえ、どういった支援が必要かについては今後市で検討されることと思う。吐山としては、今後の動きを見ながらじっくりと取組みを進めていきたい。

以上